

THE 10TH ANNUAL ALL JAPAN STUDENT

ENGLISH PRESENTATION CONTEST



Presented by Kanda Gaigo Group & The Yomiuri Shimbun

第10回 全国学生英語プレゼンテーションコンテスト

本選 **2021.11.27** Sat.

開催地：神田外語大学 (予定)

2次予選オンライン **2021.11.20 Sat.**

※現時点ではコンテスト実施予定ですが、今後の状況を鑑み大会開催が変更となる可能性もあります。予めご了承ください。

〈応募締切〉
Submission deadline

2021.10.19 Tue.

全国学生英語
プレゼンテーション
コンテスト



先輩たちのプレゼン、インタビューなど配信中!



●対象者 大学生／大学院生／短期大学生／専門学校生／高等専門学校生

学校教育法で定める大学、大学院、短期大学、専門学校および4年次以上の高等専門学校に在籍する正規課程学生(研究生や短期留学生、科目等履修生は除く)。またそれに準ずる学校の学生。
※「それに準ずる学校」についてはコンテストホームページでご確認ください。
※ただし、以下の者は対象外とする。
本人または保護者が英語を母語とする者 / 英語圏での6歳以上の就学経験・留学経験が合計13か月を超える者 / 国内外にあるインターナショナルスクールや外国大学日本校に就学した者
※本大会の参加資格における「英語圏」についての説明や、具体的な国名・地域名はコンテストホームページでご確認ください。

Theme 01

見破れフェイクニュース!
偽情報に惑わされないアイデアを提案

文部科学大臣賞
(最優秀賞)

奨学金 **100** 万円

文部科学大臣賞状、トロフィー、
ジャパン・ニュース及び読売新聞の
購読(1年分)、読売新聞東京本社 英学新聞部
インターンシップ参加権利(希望者)、その他

優秀賞

1組

Theme 02

SDGs達成のために
私たちが継続して出来ることを提案!

奨学金 **30** 万円

賞状、トロフィー、
ジャパン・ニュース購読(半年分)、
その他

インプレッシブ賞
(審査員特別賞)

1組

Theme 03

あらゆるデータを活かして価値を最大化
学校のDX化を提案!

奨学金 **20** 万円

賞状、トロフィー、
ジャパン・ニュース購読(半年分)、
その他

各テーマより1組ずつ

奨励賞

奨励金5万円
受賞者以外の本選進出者

トップ50賞

TOP50証明書
その他
得点上位50名(組)

ホープ賞

大会参加証
2次予選出場者全員に

ENGLISH PRESENTATION CONTEST

グローバル社会での活躍を期待される学生たちのスキルアップの場として、第10回全国学生英語プレゼンテーションコンテストを開催します。コンテストを通して、語学力と表現力を高め、論理的な思考力や独創性を追求して下さい。私たちを取り巻く世界は新型コロナウイルスの出現により大きな変化を余儀なくされています。しかし、歴史をひもとけばパンデミックは大変革の端緒になっているのです。それぞれのテーマを深掘りする際は、アフター・コロナの変革を常に意識し、国内のみならず海外の事例にも目を向けてください。本選審査員は国際社会で活躍されている方々です。実現の可能性が高いというだけで評価するのではなく、オリジナリティに溢れるアイデアというだけで評価するわけでもありません。両方の観点を総合して審査します。

課題：「世界に目を向け思考する」

次の中からひとつ選択し、プレゼンテーションを行う。

※内容は変更となる場合があります。

応募の際は公式ホームページ情報を、必ず確認してください。

Theme 01

見破れフェイクニュース！

偽情報に惑わされないアイデアを提案

SNSの普及により日々入手できる情報が増える一方、真偽不明の情報拡散や、捏造されたニュースが発信されるようになりました。意図的に操作された情報により、暴力の誘発や差別につながる事例も発生しています。こうした「フェイクニュース」に惑わされない人を育てるため、ニュースリテラシー向上プログラムを考えてください。

Point

フェイクニュースの弊害は経済損失のみならず、対立を生んだり、命を失ったりする事もあり深刻です。映像と写真を巧妙に改ざんするディープフェイクへの懸念も高まっています。多くの人にリテラシーを向上してもらうため、具体的な教育プログラムを発表してください。対象年齢や、枠組みは問いません。学校での教育でも、個人を対象としたプログラムでも結構です。

Theme 02

SDGs達成のために

私たちが継続して出来ることを提案！

貧困、ジェンダー平等、クリーンエネルギー、環境、平和。どれもSDGs(持続可能な開発目標)に掲げられるトピックスですが、一つひとつの目標達成には個人、企業、国家といった様々なレベルでの取り組みが欠かせません。G7(先進7か国)ユースサミット日本代表の学生として、一人でも多くの人が参画しやすく、持続性のある仕組みを提案してください。

Point

施策は個人レベルで継続して実施可能で、効果が期待できる提案内容である事がポイントです。啓蒙方法はどのような形でも構いません。17の目標のうちターゲットは1つでも複数でも結構です。興味がない人も参画しやすい仕掛けや、積極的に企業や行政に提案したくなるような、持続可能な仕組みを提案してください。

Theme 03

あらゆるデータを活かして価値を最大化 学校のDX化を提案！

日常生活のあらゆる場面でデジタル化が進む一方、学校におけるデジタル活用は遅れています。データ活用やアプリ開発などにより、利便性が高まり、かつ教育効果が期待できるDX(デジタル・トランスフォーメーション)化の策を提案してください。形だけの教育のDX化でなく、現状を超える効果をうみ出す視点が必要です。

Point

教育力や利便性の向上はもちろん、企業や地域との協働による改革、教員の指導力向上など、あらゆる角度からの提案をお待ちしています。小学校から大学まで、設定は自由です。どのようなデータを繋ぐと効果を生むのか？利用者のモチベーションは何なのか？斬新なアイデアを期待しています。

大会概要

- 参加単位：参加単位は1名～3名とします。ただし、重複エントリーは認められません。
- 応募データをもとに1次予選を行います。2次予選はオンラインで行い、本選へ出場する9組(各テーマより上位3組)を決定します。
- 使用言語：英語(質疑応答も英語による)

応募概要

- 応募方法・締切は、コンテストホームページでご確認ください。
 - 2次予選[オンライン]：2021年11月20日(土)、本選[会場は神田外語大学・千葉県(予定)]：2021年11月27日(土)
 - 応募資格・対象者：大学生、大学院生、短期大学生、専門学校生、4年次以上の高等専門学校生
- 学校教育法で定める大学、大学院、短期大学、専門学校および4年次以上の高等専門学校に在籍する正規課程学生(研究生や短期留学生、科目等履修生は除く)。またそれに準ずる学校の学生。
※「それに準ずる学校」についてはコンテストホームページでご確認ください。
- ※ただし、以下の者は対象外とする。
本人または保護者が英語を母語とする者 / 英語圏での6歳以上の就学経験・留学経験が合計13か月を超える者 / 国内外にあるインターナショナルスクールや外国大学日本校に就学した者
※本大会の参加資格における「英語圏」についての説明や、具体的な国名・地域名はコンテストホームページでご確認ください。

※2021年6月18日現在

応募方法などの詳しい情報は、コンテスト公式ホームページをご覧ください。

<https://www.kandagaigo.ac.jp/contest/>